※令和３年度以前入学生用

学校番号	1005

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校　政治・経済　　（実教出版）						
副教材等	政治・経済資料 2023　（東京法令出版株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主権者としての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
・暗記ではなく、歴史的な背景やメカニズムを意識して学習する。
・より良い社会の仕組みについて、自らの考えを持てるようにしよう。

２　学習の到達目標

・現代の諸課題の要因を歴史的観点から考察することができる。
・資料を通じて、課題の要因を分析する力を養う。
・国際社会に主体的に生きる主権者としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、より良い社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ主権者としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的･多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・ワークシート ・レポート ・振り返りシート	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の政治	・民主政治の基本原理 ・日本の政治機構 ・現代の日本の政治 ・現代の国際政治	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:民主政治の原理を人権獲得の歴史と関連付け、諸課題を意欲的に考察し、意欲的に追及しようとしている。 b:近現代の政治の特質を過去のそれと比較し、民主政治の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:民主政治の特性を、今日の政治動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
2学期	現代の経済	・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ ・現代経済と福祉の向上 ・世界経済と日本	○ ○ 	 ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	a:経済メカニズムの特質と、政府による経済との関わり方について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:市場メカニズムの原理や、経済思想の歴史的変遷を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:グラフなどの必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:経済メカニズムの基本的な事柄を現在の経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

３学期	現代社会の諸課題	・雇用と労働をめぐる諸課題 ・これからの社会保障のあり方 ・人種・民族問題	○ ○	○ ○	 ○	○	a:現代の諸課題を、その要因となる歴史的観点に基づいて意欲的に追求しようとしている。 b:現代の諸課題を、資料の分析を通じて、歴史的観点から考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、その要因となる事象を図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身につけている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。